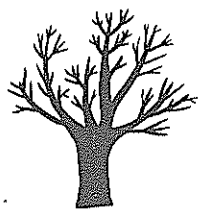


のぼる市民



政府買上げ米価には不満である

高島田邦政 (物部・農業)

諮問米価：一万六千三百八十一円
 七月七日諮問
 生米 137,364円
 米 513.1 × 0.8 = 410.48円

これに運搬費、格差、歩止まり、包装代などを計算してきめた一、四等平均生産者手取額が一万六千三百八十一円である。

政府買上げ価格：一万六千五百七十二円
 七月十日発表(政府は自民党と折衝の結果、諮問米価に百九十一円を政治加算してきめた価格)

諮問米価をきめた生産費と取量は、どうして出来たか、これが米価に重大な関係をもつ。この生産費と取量は、米作農家を代表する農家を全国で約三千戸(高知県は三十戸)選んで調査した結果を三ヵ年平均してきめたもの。ここで問

題になるのはどういう農家を選んだかということである。

農林省七月五日の発表によると(五十年分)――

○全国農家一戸当り平均米作面積……九十三・六アール(九反四畝)
 ○全国米作農家十アール当り平均



取量……五百二十五キロ(八・七五俵)
 農家の米作面積は実状より約二十アール多く、取量においても約五十キロ多い。生産費も米作面積が多くなるに従い安くなることは農林省年々発表の統計で明らかである。

このように生産費の安い農家、取量の多い農家を選んで調査した数字から米価を算出すると、次のような著しく安い米価となることは誰でもわかる。

南国俳壇
 多岐川 龍溪

原爆の地に灼け切つて千羽鶴
 昼の沼夏蝶生れ生れ飛ぶ
 赤電話はつんとおかれ支所日曜
 白南風がいざなふ翼なきわれを
 羽虫に食はれ網葉の茄子の花
 鮎焼きの匂ひのなかを歩く女
 栗の花匂い少年傷ふやす
 仁王の眼光なごむ 睡蓮満開し
 やけにペンキが鼻つく遺品の刷毛握る
 初孫にほめてかかせて星祭る

南国歌壇

生命線みだれしわれの生きつきぎて
 あした髪すくすくす化粧する
 笠の川 岡崎冬身
 特急の寝台車ふと止まりたる
 ねむれぬ真夜の大阪の駅

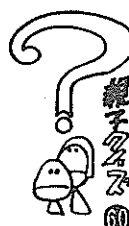
山島の梨花白く盛りきて
 ひとつ峽染むる春を謳歌し
 立田 吉田和世

これを農林省の統計で試算してみると約三千円くらい安くなっている。ここに政府の米価算出についての落とし穴があることに気が付かなければならぬ。
 この米生産農家の実状を無視して安い米価を算出する政府の政治姿勢を正すことが、適正米価実現への基本であることを銘記せねばならぬ。米価運動は線香花火式に六、七月頃に限らず、年中行事でなければならぬ。特に今から来春へかけて、今後の米価はいかにあるべきかを真剣に考え、研究すべきときであると思う。

南国俳壇

岡田 寿子(花柳俳句会)
 岡田 昌子()
 楠瀬 統子()
 千彰 みわ(茅花の会)
 浜田 民由()
 門田けんぶ()
 畑山 弘(大塚俳句教室)
 宮田 光子()
 青本青三()
 高村 徳(立田)

ご家庭で話し合せて答えてください。答えは今月号の広報に出ています。
 ■もんだい・市は流域住民の協力のもとに○月○○日、舟入川のゴミ掃討作戦を行うことになった。しめきり・九月十六日(木)
 ■おくり先・〒783 南国市大浦・南国市役所内 広報委員会 親子クイズ係
 ■答へのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。
 ■しょうひん・特賞千円〱三人 残念賞(記念品)〱十人
 第五十九回正解者発表
 ■こたえ・⑩月議会でした。
 ■特賞・千円〱二人
 中村哲也さん(前浜)
 宮本真紀さん(奈路)
 窪添正隆くん(岡豊町滝本)
 ■残念賞・記念品〱十人
 岡田始子(物部) 中村要二郎(下野田) 宮本聡子(十市) 谷口修二(桑ノ川) 藤村次彦(下野田) 片岡春吉(稲生) 高島郁代(稲吉) 元吉英世(田村) 柳瀬紀子(久礼田) 戸田由美(領石)



工期などの表示を



【問い】

市が発注している工事で、工期が遅れた場合、延滞金といったものを取っているのでしょうか。私たちが税金を納める場合、納期限に遅れると延滞金を納めなくてはなりません。市の財政は重大な危機におちいつているようですが、取っていないとしたら、行政として不合理ではないでしょうか。また、工事場所に工期などの表示をしていただくようお願いします。

一市民

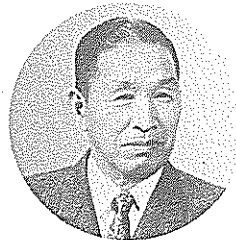
【答え】

工事請負契約書には請負人の責任により、工期内に工事を完成す

ることができない場合は、違約金を徴収し、また、工事内容の変更天災など請負人の責任によらない理由により工期内に工事を完成することができない場合は、当初の工期延長を認めることとしています。延長を認定した工期内に工事が完成すれば問題はありませんが、従いまして、請負人の責任により工期が遅延したことが明らかである場合には、違約金を徴収します。現実にはこのような事例はあつておりません。

また、工事場所への工期などの表示につきましては、今まで市民の安全ということを中心に、道路などの通行止めの場合に限り、工期の表示や夜間の点滅灯の設置などを行っていました。今後は要望のとおり、工事場所への表示を行いたいと思います。

建設課
 企画財政課



山下熊太郎さんに叙位

生前、初代市商工会長、県同連合会長など数々の要職で活躍された、故山下熊太郎氏(後免)は、このほど、従六位に叙せられました。
 中小企業の組織化を進め、企業の育成指導と市や県下の商工業の発展に尽力、大きな足跡を残された功績にたいするものです。



十市の蛇穴

十市の石土神社は、延喜式二十社の一つで、昔から信仰のあつた神社である。伊豫の石鏡神社が奥の神、十市の石土神社が前の神であるといわれるほど由緒あつたかなお宮である。

社の後の岩山はなかなかかわいなく、鉄の鎖にとりすがつてよじのぼり参詣するようになっている。すぐそばの石土の池は豊かな水をたたえ、背後の八葉山峯寺の緑をうつつて風光明媚。おのずから神威の氣にうたれる。

この岩山の下には、いくつもの石灰洞があり、俗に十市の蛇穴と

よんでいる。鐘乳石がたれさがり、石笥が生えて、腹ばいで通りぬけるかと思つと、また広々として洞窟に出るなど変化に富んだ蛇穴は果しなく続いている。

ここには、福蛇、毒蛇とよぶ雄の大蛇が住んでいるといわれ、恐ろしさも加わつて、中を極めたものはない。

この蛇穴には次のような面白い話がある。昔のこと、峯寺の住職が大変立派な狼犬を飼っていた。兎や狸をとるのが得意だったので、もしや狼師に盗まれては困ると心配し、犬の首たまたに、八葉山手飼と

書いた小札をつるしておいた。ある時この犬が山中から兎を追い出した。逃げ場を失つた兎は、とうとう蛇穴にはいりこんだ。犬もあとをおつてこの蛇穴にはいつて、姿が見えなくなった。

さてこの犬は夜になつても帰らない。翌朝になつても帰らない。二日、三日とたつたが遂に帰つてこなかった。住職は、出口を見失つて蛇穴で餓死したのだろうとあきらめ、人々も皆そう噂していた。ところが一方、お隣の伊予の国吉田の領内にも十市の蛇穴に似た洞窟があり、その深さは測り知れないので奥を極めたものはない。あるときこの蛇穴の口に、犬と兎の死骸があつた。不思議に思つてしらべると、犬の首に小札がつるしてあり、八葉山手飼と書いてあつた。八葉山は土佐峯寺の山号である。さてこの穴は、土佐の国まで抜けているのかと、土地の人々はただ驚くばかりであつた。それで古者は、今でも十市の蛇穴は伊予まで続いていると信じている。また、「土佐州郡志」によると、「本山郷の、椋の谷の山上に池があるが、この池は讃岐の瀧池池および十市の石土の池と相通している。」と書いてある。すると、十市の蛇穴は伊予まで続き、十市の池は讃岐までぬけていることになる。不思議なこともあるものだ。

